

リリースノート

2020年08月07日

AtomOS 10.52

NINJA V



重要事項 :

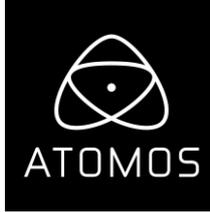
アップデートを行いますと、ProResAW コーデック用のアクティベートがまだの場合、コードを入力してアクティベートを実行する必要があります。ファームウェアアップデート後、RAW ソースに接続されたり、ProRes RAW コーデックに設定しようとした際に、ユーザーインターフェースにアクティベートを行うためのポップアップ画面が表示され、コードの入力が求められます。

アクティベートコードは Atomos のホームページ、 www.atomos.com/activation にアクセスし、画面の手順に従い、コードを発行してください。

ご利用頂ける機能 :

HDMI 経由で、Panasonic Lumix S1H の RAW 映像をモニタリングし収録

- ・ 30p までの 12bitRAW で 5.9K ProRes RAW 収録し、UHD や HD*でループアウト。
- ・ 60p までの 12bitRAW で 4.1K ProRes RAW 収録し、UHD、4KDCI、HD のいずれかでループアウト。
- ・ 30p までの 12bitRAW で 3.5K (4:3) ProRes RAW 収録し、UHD や HD でループアウト。
- ・ RAW 入力のモニタリング :
 - Native -3D LUT を適用し Vlog をモニタリング
 - ・ 3D LUT でモニタリングを行うときには、Panasonic LUMIX Global Customer Support のウェブサイト : <https://av.jpn.support.panasonic.com/support/global/cs/dsc/> の LUT をご利用ください。
 - Rec709- 6.7 段迄のダイナミックレンジを活用した SDR を RAW 表示
 - HLG - 10.5 段迄のダイナミックレンジを活用した HLG を RAW 表示
 - PQ - ハイライトのスペクトルが広いシーンで 10.5 段迄のダイナミックレンジを活用した PQ/HDR10 を RAW 表示。
- ・ S1H から RAW を表示、収録する時、V-Log をループアウトする機能を追加。



- ・ 5.9K、4.1K、3.5K (4:3)で収録した ProRes RAW 映像を再生。

追加機能：

- ・ Panasonic Lumix S1H の 4Kp60 迄の 10bit ProRes、DNX 映像収録に対応。
- ・ 対応の Z Cam をカメラコントロール時、カメラのバッテリー残量が少なくなった時のお知らせ機能を追加。
- ・ 対応の Z Cam でカメラコントロール機能を使用し、カメラと Ninja V の両方同時に収録するトリガー機能を追加。

既知の制限

全般

- ・ RAW から HDR に変換して HDMI 出力を行う際、多少不自然に見える場合があります。
- ・ ProRes RAW モードで RAW 信号から YCbCr 信号に切り替えますと正しく表示がされない場合があります。

修正

全般

- ・ ゼブラのしきい値が 100%と 105%のスライダー値で正しく表示がされなかったバグを修正しました。
- ・ HDMI 入力の安定性が向上しました。

Z Cam

- ・ カメラコントロールを適用時の RAW 収録の安定性が向上しました。
- ・ 6K RAW 収録時に、録画の最後のラインに時々不正確になる可能性があった問題が修正されました。
- ・ Ninja V のメディア容量がなくなると、カメラの収録も停止する問題が修正されました。

* S1H から 5.9Kp30 のモニタリングと ProResRAW 収録時は HD のループアウトのみ対応します。
